

## PROGRAM NOTE

## アルプス・レポート第一報 尾崎祐二&amp;みちほ

Grüezi Mitenand! 尾崎祐二&みちほです。以前はオーストラリアのシドニーからレポートさせていただきましたが、今度は北半球、しかもヨーロッパのスイスからのレポートです。僕達は今 Zürich の近郊に住んで湖のそばを走る通勤電車で通勤しています。鉄道 道路 航空のハブ都市ですが、高層ビル群がなく自然と都市が融合した絵になりそうな素敵な都会です。緯度からすれば日本列島の北端。冬の厳しさは覚悟の上ですが、寒い国には寒い国なりの知恵があり窓や扉は二重、建物も丸ごと暖房になっています。日本で言えば九州くらいの面積なのに、ドイツ・フランス・オーストリア・イタリアに囲まれているので4つの公用語圏に分かれています。



12月に入り、チューリッヒ中央駅構内に屋台がずらりと勢揃いしました。ヨーロッパ最大の屋内 Market に集まる人々は、まず、シナモンクローブ アニスなどのスパイスで香りづけして暖めたワイン、グリューワインで身体を温めます。会場はツリーの飾りをあさる人、右手に大きなソーセージ、左手で白いパンを頬張る人、移動遊園地のメリーゴーランドで遊ぶ子供達などで賑わいます。なかでも世界的にクリスタルでは一流のスワロフスキー社がプロデュースした15mもあるクリスマスツリーは、7千以上のクリスタルの飾りで輝いており、その豪華さにはさすがに目をみはりました。



スイスでは、12月6日に赤ではなく茶色い服に身を包んだ聖ニコラウスにあたる Samichlaus サミクラウスとその従者 Schmutzli シュムツツリがトナカイでなく、ロバを引いてやって来ます。そして、良い子には「プレゼント」として「ウォルナッツ、ピーナッツ、チョコレート、ミカン、ジンジャーブレッド」を、悪い子は従者がホウキでお仕置きをします。雪国東北のナマハゲと同じですね。

クリスマスが過ぎると、休暇をとってスキーに出かける家族が多いのか近所は何となく静かです。大晦日には、カウントダウンがはじまって時計が真夜中を過ぎると、教会の鐘があたりに鳴り響き、チューリッヒ湖では花火が打ち上げられます。私たちも湖面の夜空を彩る花火の祭典で「ein Gutes Neues Jahr」（おめでとう）を言って新年を交わします。小さな国スイスですが、土地によってそれぞれ違う言語で新年の挨拶がかけられることでしょう。

## サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫  
毎週土曜日放送

1月04日	アリゾナから新年おめでとう（尾崎ファミリー）
1月11日	井田 昌之（青山学院大学院教授）その1
1月18日	井田 昌之（青山学院大学院教授）その2
1月25日	井田 昌之（青山学院大学院教授）その3

## バイブル・トーク

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師  
毎週日曜日放送

1月05日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（53）
1月12日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（54）
1月19日	リスナーからの「お便り交換の時間です」
1月26日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（55）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15525kHz （再放送） 午後7時55分~8時25分 15400kHz  
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）